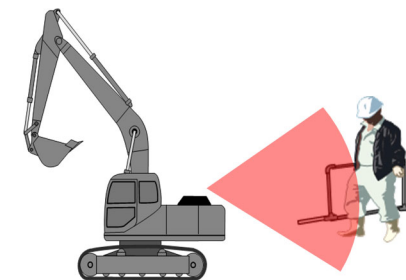


技術テーマ： 建設機械の安全装置に関する技術

～『建設機械の物体検知及び衝突リスク低減に関する技術』～

本テーマを設定した理由

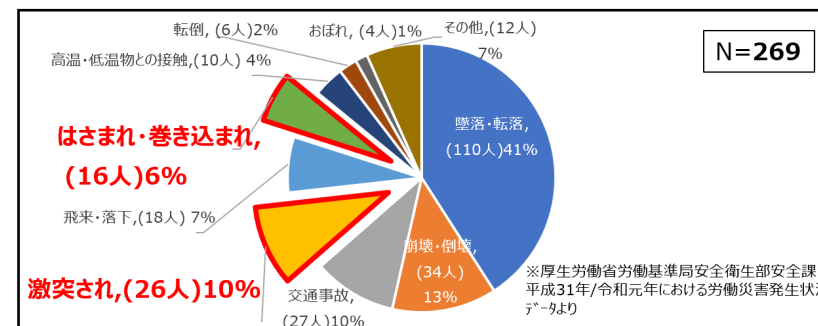
- ◆ 労働災害発生状況(厚生労働省統計)において、死亡事故は減少傾向にはあるものの、建設業では全体の約3割を占めており、全産業のなかで一番多い。
- ◆ 死亡者要因としても、建設機械による「激突され」、「はさまれ」が比較的多くを占めている。



建設機械施工の危険検知技術は、NETISに数多く登録されてきており、ニーズに合った技術を選定することができれば、現場の安全管理、事故防止といった現場課題の解決を期待される。

- 検知後の作動 → 自動停止、音による警告 等
- 検知方法 → カメラやセンサーによる検知、ICタグによる検知 等

<R1年度建設業における死亡事故の要因>



ブルドーザ・ホイローダの取組み経緯

- 技術公募(令和4年12月21日～令和5年1月27日まで)
- 選定技術の公表(令和5年3月17日)
- 技術比較表の公表(今回)